

計画高水位は、河川管理上の基準とする水位であり、目標とする洪水をこの水位以下で安全に流下させることができるようにする河川整備や、橋梁などの許可工作物設置に際しての基準となるものである。

治水の大原則は洪水をできるだけ低い水位で安全に流すことである。

計画高水位を上げることは、破堤の危険性を大きくすることになること、破堤時の氾濫量が大きくなること及び内水排水の問題が生じてくることなどから後背地の治水安全度の観点から望ましくない。さらに、新たな堤防用地の買収や橋梁等の再改築などの困難を伴い、社会的影響も極めて大きい。

